

「収穫を期待して」

小森文雄

ガラテヤ6：7～10（旧新改訳使用）

思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行ないましょう。

収穫に関する多くの例え

主イエスは、多くの種まきや収穫に関するたとえ話をしておられます。例) 道ばたに蒔かれた種など当時の人にとって、種を蒔き収穫を期待することは、身近な経験でした。

神は侮られるような方ではありません

ここでも種まきが用いられています。7節「人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。」童話「ジャックと豆の木」のように、種を蒔いても一夜にして成長することはありません。時間がかかります。すぐに結果が、現れません。時間差があるのです。たちまち結果が現れば、人々は「主を畏れて、そのことばに耳を傾けるでしょう」。しかし、そうではありません。すぐには、なにも起こりません。それゆえ人は、「神を侮り無視するのです」7節。聖書は、警告します。「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません」と。私たちは、その様な御方の前で生きているのです。

種まきと収穫には時間差がある

その時間差とは、どれくらいでしょうか。9節「あきらめずに続ければ、時が来て刈り取ることになります。」と語られています。「あきらめずに続ければ」とは、ともすれば結果を見

ることができないので「あきらめ」てしまうほどの時間です。

現代人の私たちは、せっかちです。何でも、すぐに結果が分かり、また、結果を要求される時代に生きています。社会全体が、結果を出さなければ評価されなくなってきています。聖書が語る「時が来て刈り取ることになります」との、「時」を待てないのです。

失望せずに続けましょう

9 節「失望せずに善を行いましょう。あきらめずに続ければ、時が来て刈り取ることになります。」「失望して」「あきらめ」やすい、私たちに「失望せずに」「あきらめずに続ければ」と神は、勧めて下さっています。人の弱さを知っておられる御方が、勧めておられるのです。7 節「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取りもすることになります。」と語られます。

ですから「失望しないで」「あきらめずに続け」ましょう。そうすれば「時が来て刈り取ることに」なるのです。

10 節「ですから、私たちは機会があるうちに、すべての人に、特に信仰の家族に善を行いましょう。」 私たちは「信仰の家族」です。コロナウイルス対策で、外出を控えるべき時にどのような「善を行う」ことが出来るのでしょうか。

第一は、執り成しの祈りです。互いを覚えて祈りましょう。置かれている状況を想像して祈りましょう。第二は、電話や手紙や SNS など安否を問い合わせ、励まし合いましょう。刈り取りを期待しつつ……。出かけることが出来なくとも、出来ることがあるのです。